

科目名 (英)	オリエンテーション導入教育Ⅰ	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	石渡
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
トータルビューティ科の2年間の学びが理解できる 自分自身が学ぶ目的を持てる							
【授業を通じての到達目標】							
トータルビューティ科の2年間の学びを理解し、自分自身の目標が設定できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	オリエンテーション 学則について 学年暦について 授業の学び方について						
2							
3							
4						40点	
5	導入教育 クラス内役割について 清掃について 授業の持ち物・SNSマナーについて						
6							
7							
8						60点	
9							
10							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) / D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤・石渡・松原
学科・コース	トータルビューティ科共通	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
				曜日・時間	【金曜日】1組2限 /2組1限 /3組4限		
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<ul style="list-style-type: none"> ・担任が社会人経験を活かし、美容学生として自覚を持たせそれぞれの業界のプロを目指す心構えを持たせる。 ・業界のプロを目指すためにそれぞれの職種について、やりがい、職業につくための必要な努力を伝える。 ・学生1人ひとりの適性を踏まえて後期からの進路(コース)を選択できるよう導く。 							
【授業を通じての到達目標】							
目指す業界を知り、業界のプロを目指すにあたり必要なマナーや振る舞いを理解し、実践することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
マニュアル/その他毎授業時に配布。				授業によって自宅課題あり。			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・美容の職業を目指すにあたり具体的な目標設定をする。 入学式を振り返り、自分が学びたいことや職業を明確化する。 言葉の花束 					5点	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・美容の職業を目指すにあたり具体的な目標設定をする。 個人目標→クラス目標を設定する。 ・GWの課題について(Teams) アイスブレイク クラスルール決め 					5点	
3	GW課題発表 & 回収(Teams) サポートアンケート実施					GW課題→小テスト5点	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す業界について学ぶ ★キャリア→業界全体について:川畑先生 ※2コースを深く調べる。 →理想の業界人を考え、その業界を目指すにあたり必要な努力を理解する。 					20点	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す業界について学ぶ ※2コースを深く調べる。 					5点	
6	OG講話に向けて、来校するOGの企業を調べる 質問を最低3個以上記入					小テスト5点	
7	【中間テスト】 入学後、学んだことを振り返り目標が達成されたか確認する。 →中間テストを通して、入学後の自分を振り返り自分の成長度を確認し、コース選択の希望や次の目標を明確化できるようになる。						
8	定期試験					60点	
【特記事項】				【評価について】 <ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 II	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	石渡・佐藤・松原
学科・コース	トータルビューティ科共通	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
				曜日・時間	【金曜日】1組2限 / 2組1限 / 3組4限		
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<ul style="list-style-type: none"> ・担任が社会人経験を活かし、美容学生として自覚を持たせそれぞれの業界のプロを目指す心構えを持たせる。 ・業界のプロを目指すためにそれぞれの職種について、やりがい、職業につくための必要な努力を伝える。 ・学生1人ひとりの適性を踏まえて後期からの進路(コース)を選択できるよう導く。 							
【授業を通じての到達目標】							
目指す業界を知り、業界のプロを目指すにあたり必要なマナーや振る舞いを理解し、実践することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
マニュアル/その他毎授業時に配布。				授業によって自宅課題あり。			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	OG講話					午前:1組2組/午後:3組4組	
2	OG講話の振り返り ★キャリア→川畑先生 履歴書の記入方法を学び、後期に向けての就職活動を意識する。 お辞儀の種類、方向の示し方の所作を学び学校生活の中で実践できるようにする。					5点	
3	お客様体験について→アンケート実施					5点	
4	後期に進むコースを決定する。 ★キャリア→川畑先生 →求人サイトの使い方 →インターンシップについて					20点	
5	履歴書作成を学ぶ① 文章の書き方 自己分析 自己PR					5点	
6	履歴書の書き方を学ぶ② 面接における諸対応を学ぶ (取得する資格の正式名称を確認し、履歴書に ※社会的マナーを確認し、楽しく有意義な夏休みを過ごせるように計画を立てる					5点	
7	就職活動に向けて自分のアピール方法を考える ★キャリア→川畑先生						
8	前期を振り返り、後期に向けての目標を設定する。					筆記試験 定期試験 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名	1・2年生交流会	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	石渡・中村・黒谷
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【目的】 同学年の交流をすることで卒後のつながりを強化する。また2年生は1年生へ自分たちの得た知識・技術を披露することで自分たちが学んだコースの強みを理解する。1年生は2年生から施術を受けることで各コースで学べる内容を理解し、後期のコース選択のヒントを得ることができる 【教員】 社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。							
【授業を通じての到達目標】							
2年生は技能・知識を披露して1年生はコース選択の参考にすることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
筆記用具 スマートフォン				帰宅での調べ課題			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	1・2年生交流会に向けて各コース(MA/NL)の業態について調べ、各コースの特徴をまとめることができる						
2	1・2年生交流会に向けて各コース(ES/FA)の業態について調べ、各コースの特徴をまとめることができる						
3	1～2回の授業でまとめた内容をグループでシェアすることでより深く各業態について知ることができる						
4	1～3回の内容をもとに2年生と交流するコースを選択する						
5	4回目授業で決めたコースについて質問シートをまとめ						
6	選択したコースの先輩から施術をしてもらうことで自分の希望するコース・学ぶ内容を知ることができる ①						
7	選択したコースの先輩から施術をもらうことで自分の希望するコース・学ぶ内容を知ることができる ②						
8	6～7回の授業で施術をもらった先輩へお礼状を書くことで、自分が得た知識についてアウトプットを行うことができる						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	トレンド研究 (中間導入)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	中村 石渡 黒谷
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイク・ネイル・エステ・ファッションそれぞれの業界の方に授業を受け、専攻選択に向けての思いを高める							
【授業を通じての到達目標】							
4業種の仕事のやりがいなどが理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	オリエンテーション 企業調べ・企業理解 グループワークによる企業シェア						
2							
3							
4							40点
5	企業授業実施 (メイク・ネイル・エステ・ファッション) 振り返り・グループシェア						
6							
7							
8							60点
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90~100点) / B評価 (80~89点) / C評価 (70~79点) / D評価 (60~69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する 			

科目名 (英)	メイク基礎 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	関・深井
学科・コース	TB科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
				曜日・時間	(月)1・2限1-3 3・4限1-1 (木)3・4限1-2		
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
25年以上メイクアップの仕事に携わり、複数の美容専門学校で15年以上授業を担当。JESC検定の問題作成、テキストの監修、ヘアメイクを担当。(深井)メイクアップアーティストやビューティーアドバイザー、またサロンメイクなどのメイクアップの教育に30年以上携わり、また企業や一般の方向けのパーソナルメイクのインストラクターも行う。(関) 目的:フルメイクをするためのマナーやテクニックについて理解し、時間内に基本的なメイクアップを仕上げる技術が修得できるようになる。概要:テキストに基づいてメイクをする際のポイントや注意点を覚え、相モデルでの反復練習と技術チェックで基本のフルメイク技術を学ぶ。JESCメイク検定科目でもあるが様々なメイクができるようになるためには重要な基本技術である。							
【授業を通じての到達目標】							
基本のフルメイクを30分で仕上げる技術を修得する。JESC検定合格。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
Basic Makeup							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	授業内容・ルール・教材確認・名前書き・メイク前準備・スキンケア手順					3	
2	テーブルセッティング・スキンケア実技 下地・ファンデーション理論・実技					3	
3	復習 コンシーラー・フェイスパウダー理論・実技					3	
4	中間試験 指定時間内に相モデルでベースメイク					実技20点	
5	ベースメイク復習 アイブロウ理論・実技					3	
6	アイブロウ復習 アイメイク理論・実技 (ベースメイクやってある状態で)					4	
7	メイク前準備～アイメイク実技					4	
8	定期試験 指定時間内に相モデルで～アイメイク					実技60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	メイク基礎Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	関・深井
学科・コース	TB科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
				曜日・時間	(月)1・2限1-3 3・4限1-1 (水)3・4限1-2		
<p>25年以上メイクアップの仕事に携わり、複数の美容専門学校で15年以上授業を担当。JESC検定の問題作成、テキストの監修、ヘアメイクを担当。(深井)メイクアップアーティストやビューティーアドバイザー、またサロンメイクなどのメイクアップの教育に30年以上携わり、また企業や一般の方向けのパーソナルメイクのインストラクターも行う。(関) 目的:フルメイクをするためのマナーやテクニックについて理解し、時間内に基本的なメイクアップを仕上げる技術が修得できるようになる。概要:テキストに基づいてメイクをする際のポイントや注意点を覚え、相モデルでの反復練習と技術チェックで基本のフルメイク技術を学ぶ。JESCメイク検定科目でもあるが様々なメイクができるようになるためには重要な基本技術である。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
基本のフルメイクを30分で仕上げる技術を修得する。JESC検定合格。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
Basic Makeup							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	アイメイクまで復習 リップ理論・実技					3	
2	リップまで復習 ハイライト・シェイディング理論・実技 チーク理論・実技					3	
3	フルメイク通し45分					3	
4	中間試験 指定された時間で相モデルフルメイク					実技20点	
5	時間配分・フルメイクデモ30分・フルメイク40分タイム取り					3	
6	フルメイク30分タイム取り・検定注意事項読み合わせ					4	
7	フルメイク29分タイム取り・筆記模擬試験					4	
8	定期試験 検定試験と同じように事前審査とフルメイクを29分で実施					実技60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	エステ基礎	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	内藤/福岡/佐野/小野
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) エステティシャン、エステティック講師として25年以上関わってきました。(内藤)エステティックはどんな仕事なのか、準備やご案内からマッサージ技術において一連の流れを体験しながら学んでいきます。ハンドテクニックによる足のマッサージを修得していただきますが、お客様に対する気配りなど、皆さんの今後プラスになるような知識を含めながらお伝えします。目的:エステティシャンで必要とされる技術や接客方法を学ぶ 概要:この科目ではボディマッサージ方法を学び、マッサージ手技やマッサージ中の姿勢や体重のかけ方など具体的に専門的に学びます。接客においては、お客様側を体験することでお客様目線で接客について学ぶことができます。(内藤)							
【授業を通じての到達目標】 ボディエステティックを通じ、接客、マッサージなどのトリートメント方法を修得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
実技マニュアルプリント、ボディ実技準備一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	ボディエステティックとは、目的と効果、事前準備について(P.50～54)						
2	ボディマッサージの基本手技について(p.66～69) 前操作、スチームタオルの作り方					小テスト 10点	
3	前操作～下肢後面マッサージ(塗布～4)、スチームタオルふき取りについて						
4	下肢後面 塗布～4までの復習と5～12まで連続して行う : 中間テスト					中間テスト 20点	
5	前操作～下肢後面ボディマッサージ～12まで連続して行う						
6	うつ伏せから仰向けのご案内の仕方 下肢前面ボディマッサージ(～10)					小テスト 10点	
7	下肢前面ディープクレンジング～前面ボディマッサージ(10まで)						
8	下肢ボディマッサージ 前操作～後面～前面～拭き取り～仕上げ : 定期試験					定期試験 60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッション基礎	必修選 択	必修	年次	1	担当教員	矢澤 勇
学科・コース	トータルビューティ科	授業形 態	実習、講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	水曜1限-4限 金曜 1限2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
キッズモデルからモデルキャリアスタート、後に国内海外ブランドで働いてまた2013年からスタイリストとして活動中、雑誌やGMIに舞台など衣装を幅広くやっています。 またモデル育成やウォーキング講師なども行っている							
【授業を通じての到達目標】							
セルフのトータルコーディネートやSNSの発信力のスキルまたプレゼンテーションスキルアップ							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	授業の流れのオリエンテーションとプレゼンのスキルチェック						
2	セルフコーディネートとパーソナルコーディネート					10点	
3	テストに向けて準備と振り返り						
4	中間テスト					20点	
5	SNSとトレンドリサーチ①						
6	SNSとトレンドリサーチ②					10点	
7	テストに向けての準備と振り返り						
8	定期試験					60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】						【評価について】	
						●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

科目名 (英)	美肌検定Ⅰ	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15(1)	開講区分	前期
						曜日・時間	金曜日
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>エステティシャン、エステティック講師として25年以上関わってきました。将来、美容業に携わる皆さん自身の為に美肌の知識を深めるとともに、周りの方にもアドバイスができるようになるよう、普段の生活にも参考になるような知識をお伝えします。目的：美肌検定に合格できるための必要な知識を学ぶ 概要：この科目では肌について専門的に学びますが、食事法や運動法、お手入れな方法ど幅広く学ぶことで、内外からトータル美容を学ぶ学生にとっても重要な基本的な知識である。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
美肌検定に合格する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美肌検定テキスト							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	美肌の条件、美肌度チェック、美肌維持について (P.8～13)					5点	
2	美肌ケアの基本、運動、栄養について (P.16～24)					5点	
3	皮膚の構造と働きについて (P.26～27)						
4	4つの肌タイプ、表皮のターンオーバー、真皮の構造機能について (P.28～31)					20点	
5	しわ、たるみについて (P.32～33)					5点	
6	年代別お手入れ方法、男性の肌のお手入れ方法について (P.34～38)					5点	
7	細胞再生修復、睡眠とホルモン、女性ホルモン、お手入れについて (P.40～46)						
8	定期試験					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	美肌検定Ⅱ	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30(1)	開講区分	前期
						曜日・時間	金曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステティシャン、エステティック講師として25年以上関わってきました。将来、美容業に携わる皆さん自身の為に美肌の知識を深めるとともに、周りの方にもアドバイスができるようになるよう、普段の生活にも参考になるような知識をお伝えします。目的:美肌検定に合格できるための必要な知識を学ぶ 概要:この科目では肌について専門的に学びますが、食事法や運動法、お手入れな方法と幅広く学ぶことで、内外からトータル美容を学ぶ学生にとっても重要な基本的な知識である。							
【授業を通じての到達目標】							
美肌検定に合格する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美肌検定テキスト							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
9	体調と肌、活性酸素とは、活性酸素の要因、紫外線について(P.48～53)					小テスト5点	
10	女性ホルモンと肌、温度・湿度と肌、季節にあったお手入れ方法について(P.54～59)						
11	クレンジングと洗顔、美肌を育む、与えるスキンケアについて(P.62～65)					小テスト5点	
12	化粧品の基本の使い方と選び方、化粧品の原料と役割、自分の肌に合う化粧品の見つけ方、薬機法					20点	
13	フェイシャルマッサージの効果、美肌維持に関係する表情筋、セルフマッサージについて					小テスト5点	
14	美肌を作る簡単ストレッチとボディマッサージ、ハンドネイルケアについて					小テスト5点	
15	美肌を作る簡単ストレッチとボディマッサージ、ハンドネイルケアについて						
16	定期試験 (美肌検定試験)					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ネイル検定対策 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	小峰奈々 橋本勇人
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 1組 水曜日 3.4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>小峰奈々: 講師歴13年 13年の講師経験を生かし初心者でもわかりやすいように研究を重ねて参りました。 ネイリストとしての基本的な姿勢、所作にまでこだわって授業でお伝えしています。 検定試験合格へのポイントも細かくお伝えしています。</p> <p>橋本勇人 ネイリストとして24年間、店長、スタッフ育成、人事などにたずさわり、スクール講師としても20年以上勤めてきました。 この経験を生かしこれから皆さんが学ぶネイルの基礎知識から専門知識を伝え検定試験3級合格までをサポートしていきます。</p> <p>※日本ネイリスト協会の常任本部認定講師が担当し、基礎となる専門技術と専門知識をお伝えします。 ※JNECネイリスト技能検定試験管経験が豊富にあり合格への重要ポイントを学ぶ事ができます。</p> <p>概要: この科目ではネイリスト技能検定試験を通じて 衛生と消毒、爪の構造、爪の病気とトラブル、ネイルの技術形態、テーブルセッティング、ネイルケア、ネイルアートに関する基本的な知識を理解し、 ネイルケアの安全な技術、各種カラーリング、フラットアート(イラスト)ネイルアートの技術を修得する トータルビューティーを学ぶ学生にとって基本的な技術である</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>ネイリスト技能検定3級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げる事ができる</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
<p>JNAテクニカルシステムベーシック 配布教材 コットン エプロン バスタオル1枚 フェスタオル2枚 ハンドタオル1枚 ビニール袋(大きさB5～A4位、ノット位の大きさ) セロテープ キッチンペーパー(ロールタイプ)2枚1組を6組以上 筆記用具 ハサミ メモ帳 タイマー</p>							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	<p>シラバス、コマシラ読み合せ 教材説明 ネイルケアの用具用材と使用目的 p71.72 (ラベル貼り) テーブルセッティング[基本的なテーブルセッティング p70] 目標:教材の名称と使用目的を覚える 基本的なテーブルセッティングを覚え実践できる</p>						
2	<p>学科[爪の構造と働き p16.17] テーブルセッティング確認 教材ラベル貼りの確認 エメリーボードの面取り確認 ウッドスティックの仕上がり確認 [カットスタイル別ファイリングp85～91] 動画ファイリング練習(チップ) 小テスト:チップ ラウンド 目標:爪の名称を覚え、構造と働きを検定試験までに覚える 基本的なテーブルセッティングができる 5種類のカットスタイルの特徴を理解し覚える エメリーボードの持ち方を理解し実践できる</p>						小テスト10点
3	<p>学科[爪の構造と働き p18.19] テーブルセッティング確認、ファイリング復習 デモ練習 プッシャーの使用法動画→相モデル練習 小テスト:プッシャーのハンドリング 目標:爪の名称を覚え、構造と働きを検定試験までに覚える お客様の手の持ち方とちから加減を覚える メタルプッシャーの用途、持ち方、動かし方、角度を覚え実践できる</p>						小テスト10点
4	<p>テーブルセッティング確認 ファイリング～ケアのデモ練習 相モデル 目標:ファイリング～ケアの手順を覚え実践できる</p>						
5	<p>テーブルセッティング確認 ファイリング確認 ケアデモ練習 相モデル 目標:正しい手順でファイリング～ケアが行える プッシャーとニッパーの正しい角度、持ち方、動かし方、支えができる</p>						

6	<p>要項説明 1回目(全2回)</p> <p>テーブルセッティング確認 カラーリング デモンストレーション:動画[・ファイリング練習(チップ)・カラーリング赤ポリッシュ練習(チップ)]</p> <p>目標:ブラシの持ち方、支えができる カラーリングのブラシのストロークの順番とブラシの角度、ブラシ圧を覚え実践できる</p>	
7	<p>フラットアート(イラスト 花)</p> <p>ラウンド カラーリング ハイビスカスのバランス 動画・ハイビスカスの描き 動画 バラの描き方 動画 ガーベラ 描き方 動画 中間テスト:上記アートいずれか</p> <p>目標:バランス、描き方を覚える</p>	中間テスト20点
8	<p>◆相モデルの1人目が定期試験を受ける 事前仕込み(ケア、ラウンド、カラーリングトップまで【60'】※カラーリングの前にお手洗いを済ませておく ポリッシュオフ、ファイリング、クリーンナップ(ケア) アート カラーリング 【両手60分】</p> <p>目標:時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解できている</p> <p>※木曜日の定期試験で相モデルの2人目が定期試験を受ける ※休憩なし</p>	定期試験60点
1	<p>テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本(右手親、人、中 左手親、人)35分 ポリッシュオフ (5分) 相モデル</p> <p>目標:時間内に施術ができる 採点基準表の項目を覚える 減点、失格を覚える</p>	
2	<p>テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本(右手親、人、中 左手親、人)35分 ポリッシュオフ (5分) 相モデル</p> <p>目標:時間内に施術ができる 採点基準表の項目を覚える 減点、失格を覚える</p>	
3	<p>テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本(右手親、人、中 左手親、人)35分 ポリッシュオフ (5分) 相モデル</p> <p>目標:時間内に施術ができる 採点基準表の項目を覚える 減点、失格を覚える</p>	
4	<p>検定対策※モデル同伴可能 テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート(相モデル)</p> <p>目標:時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解できていて実践できる</p>	
<p>【特記事項】</p> <p>7月16日 日曜日 ネイリスト技能検定試験3級</p>		<p>【評価について】</p> <p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>

科目名 (英)	ネイル検定対策Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	小峰奈々 橋本勇人
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	木曜日 1,2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>小峰奈々： 講師歴13年 13年の講師経験を生かし初心者でもわかりやすいように研究を重ねて参りました。 ネイリストとしての基本的な姿勢、所作にまでこだわって授業でお伝えしています。 検定試験合格へのポイントも細かくお伝えしています。</p> <p>橋本勇人 ネイリストとして24年間、店长、スタッフ育成、人事などにたずさわり、スクール講師としても20年以上勤めてきました。 この経験を生かしこれから皆さんが学ぶネイルの基礎知識から専門知識を伝え検定試験3級合格までをサポートしていきます。 ネイリスト技能検定3級に合格する為に ネイルケア ネイルアートに関する基本的な知識を理解し、ネイルケア カラーリング ネイルアートの技術を修得する</p> <p>※日本ネイリスト協会の常任本部認定講師が担当し、基礎となる専門技術と専門知識をお伝えします。 ※JNECネイリスト技能検定試験管経験が豊富にあり合格への重要ポイントを学ぶ事ができます。</p> <p>概要： この科目ではネイリスト技能検定試験を通じて 衛生と消毒、爪の構造、爪の病気とトラブル、ネイルの技術形態、テーブルセッティング、ネイルケア、ネイルアートに関する基本的な知識を理解し、 ネイルケアの安全な技術、各種カラーリング、フラットアート(イラスト)ネイルアートの技術を修得する</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>ネイリスト技能検定3級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
<p>JNAテクニカルシステムベーシック 配布教材 コットン エプロン バスタオル1枚 フェイスタオル2枚 ハンドタオル1枚 ビニール袋(大きさB5～A4位、ノート位の大きさ) セロテープ キッチンペーパー(ロールタイプ)2枚1組を6組以上 筆記用具 ハサミ メモ帳 タイマー</p>							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	<p>シラバス、コマシラ読み合わせ 学科[ネイルの技術形態 p14.15] テーブルセッティング確認 エメリーボードの面取り ウッドスティックのカスタム(削り)2種 コットンスティック作成※大、小の其々の用途の説明</p> <p>目標:ネイルの技術形態を覚える 基本的なテーブルセッティングを覚える エメリーボードの面取りを行いエメリーボードを安全に使用できる状態にする ウッドスティックをカスタマイズして使用できる状態にする コットンスティックが用途に合わせた大ききで作成できる</p>						
2	<p>学科[ネイルの歴史] [手指消毒p74] テーブルセッティング確認 手指消毒 ファイリング相モデル 小テスト: エメリーボードファイリング</p> <p>目標:ネイルの歴史を知る 手指消毒の方法を覚え実践できる エメリーボードの持ち方、支えを覚え実践できる</p>					小テスト10点	
3	<p>学科[爪や皮膚の病気とトラブル p30～36] テーブルセッティング確認 プッシャー復習 デモ→練習 ニッパーの使用法 動画→相モデル 小テスト: ニッパーのハンドリング</p> <p>目標:爪や皮膚の病気とトラブルを知り、職能範囲を見極められるようになる お客様の手の持ち方とちから加減を覚える ニッパーの用途、持ち方、動かし方、角度を覚える</p>					小テスト10点	

4	<p>テーブルセッティング確認 ファイリング～ケアのデモ→練習 相モデル</p> <p>目標:ファイリング～ケアの手順を覚える</p>	
5	<p>テーブルセッティング確認 ファイリング確認 ケアデモ→練習 相モデル</p> <p>目標:正しい手順でファイリング～ケアが行える ブッシヤーとニッパーの正しい角度、持ち方、動かし方、支えができる</p>	
6	<p>要項説明</p> <p>フラットアート(イラスト 花) 動画[・チップの組み立て～カラーリング(1'39") ハイビスカスのバランス(3'07")・ハイビスカスの描き方(25'38") バラの描き方(17'06")] ガーベラ 描き方デモ→練習</p> <p>目標:バランス、描き方を覚える</p>	
7	<p>テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本(右手親、人、中 左手親、人)35分 中間テスト:カラーリング ポリッシュオフ (5分) 相モデル</p> <p>目標:自爪のサイズに合わせてアートが描ける</p>	中間テスト20点
8	<p>◆相モデルの2人目が定期試験を受ける 事前仕込み(ケア、ラウンド、カラーリングトップまで【60'】※カラーリングの前にお手洗いを済ませておく ポリッシュオフ、ファイリング、クリーンナップ(ケア) アート カラーリング 【両手60分】</p> <p>目標:時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解でき実践できる</p> <p>※休憩なし</p>	定期試験60点
1	<p>テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本(右手親、人、中 左手親、人)35分 ポリッシュオフ (5分) 相モデル</p> <p>目標:時間内に施術ができる 採点基準表の項目を覚える 減点、失格を覚える</p>	
2	<p>テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本(右手親、人、中 左手親、人)35分 ポリッシュオフ (5分) 相モデル</p> <p>目標:時間内に施術ができる 採点基準表の項目を覚える 減点、失格を覚える</p>	
3	<p>テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本(右手親、人、中 左手親、人)35分 ポリッシュオフ (5分) 相モデル</p> <p>目標:時間内に施術ができる 採点基準表の項目を覚える 減点、失格を覚える</p>	
4	<p>ネイリスト技能検定試験 検定対策 仕込み ※モデル同伴</p> <p>目標:時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解でき実践できる</p>	

【特記事項】

7月16日 日曜日 ネイリスト技能検定試験3級

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点

●評価

A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)

D評価(60～69点)

E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名 (英)	選択必修Ⅰ (メイク)	必修選 択	必修	年次	1	担当教員	久保・秋本・笠原・清水
学科・コ ー ス	トータルビューティ科	授業形 態	実技	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>〈久保〉外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告、バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動。(12年)</p> <p>〈秋本〉外資系化粧品ブランドで4年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、CM、バックステージ(国内・外)、パーソナルメイクサロンとして活動中</p> <p>〈笠原〉外資系化粧品ブランド約9年、ブライダルヘアメイクやメイク講師として2年程現在活動中</p> <p>〈清水〉外資系化粧品ブランドで勤務後、フリーランスヘアメイクとしてファッションショー、スチール撮影を携わって来た。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
骨格、色彩を学び、デザイン力を身に付けてメイクの完成度を高める。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ファンデーションの種類を学び、仕上がりに合った選び方を身につける						
2	アイブロウの整え方、形の種類、描き方を身につける					5点	
3	質感別メイク					5点	
4	中間テスト 質感別メイク					20点	
5	質感別メイク						
6	骨格補正(黄金比)					5点	
7	テスト練習					5点	
8	定期テスト					60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 			

科目名 (英)	選択必修Ⅰ (ファッション)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	前嶋 直哉
学科・コース	TB科ファッションコース	授業形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション業界の基本的な知識の習得と、ファッション業界とそれを取り巻く業界の職務理解を行う ※講師:エストネーションカンパニーにて管理職として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネージメントを行う							
【授業を通じての到達目標】							
基本的なファッションの知識を習得しプレゼンテーション能力向上や、職種知識を習得して業界への知見を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業毎にプリントを配布				店舗見学			
回	授業概要					テスト配点	
1	ファッションとは？流行とは？情報とはどのように入ってくるのか？ 自分たちを取り巻くファッションについて考察する。(SNS、雑誌、広告などを調べ考察する)						
2	ファッションの基本的な知識(スタイリング、ディテール名称、素材知識、カラーなど)を知る。						
3	ファッションのバックボーン(歴史やカテゴリー、コレクションなど)を知ることによって、ファッション、小売店舗の種類を理解してファッション業界の幅を知る。						
4	中間テスト					20点	
5	アパレル以外のファッションについての理解。 (服飾雑貨、コスメ、ヘアメイクなどアパレルを取り巻くファッションについての理解)						
6	ファッション業界についての業務理解① (リテール・小売業についての理解を深める)						
7	ファッション業界についての業務理解② (MD、VMD、バイヤー商品企画などの商品部署、PRやマーケティングの広報部署についての理解を深める)						
8	期末テスト					60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15						60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E 評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	選択必修 I (エステ)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小池 千絵
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜日3・4限

【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

大手エステサロンでエステティシャンとして2年勤務・美容室にてエステ部門を8年担当し認定講師の資格を有し、複数の専門学校でエステティックの授業を受け持つ教員がボディマッサージの基本や接客の基本を身につけてるための授業を実施する

【授業を通じての到達目標】

身体の各部位の特性を理解し効果を実感してもらえるマッサージを行う

【使用教科書・教材・参考書】

【授業外における学習】

プリント(補助教材)

身近な方へ授業で習得したマッサージを行う

回	授 業 概 要	テ ス ト 配 点
1	【施術前の準備】エステティシャンの振る舞い方を知りお客様への接客を学ぶ	
2	【背中 of マッサージ】マニュアルを見ながら背中のマッサージができるようになる	5点
3	【背中 of マッサージ】背中のマッサージを正確にできるようになる	5点
4	【腹部 of マッサージ】腹部のマッサージを正確にできるようになる	20点
5	【背中・腹部 of マッサージ】 背中、腹部のマッサージを連続してできるようになる	
6	【背中・腹部 of マッサージ】ご案内からアフターカウンセリングまでをスムーズに行う	5点
7	【中間試験】 ご案内～背中～腹部～アフターカウンセリングの流れをスムーズ行う	5点
8	【背中・腹部 of マッサージ・パック】背中のパック技術を習得する	60点

【特記事項】相モデルで毎回授業を実施します

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点

●評価

A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)

D評価(60～69点)

E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名 (英)	選択必修 I (ネイル)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	小峰奈々 戸川智尋
学科・コース	トータルビューティ科 ネイルコース	授業 形態	実技	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
この科目では サロンワークに必要な基本的なアートから流行りのアートまで様々なジェルアート技術を修得する 小峰奈々: ネイリストとして20年以上ネイル業界に携わってきました。 ジェルネイルが流行る前からネイルサロンでジェルネイルを導入していたためスタッフへの教育はもろろん、 講師業で培ったジェルネイルの技法、ジェルメーカーのエデュケーター活動(セミナー開催など)の経験を活かし皆さんにジェルネイルの知識と技術をお伝えしま す。 戸川智尋: サロン業務、サロン研修所講師を経て、スクールでのネイルの教育に20年以上携わってきました。 各種ジェルメーカーのエデュケーターを務め、現場ではネイルサロン、ネイル雑誌撮影、スタジオスチール撮影などの仕事に携わってきました。 様々な経験を活かし、サロンワークで実践できる最新技術をお伝えします。 ※コロナウイルス感染防止対策として、担任講師が担当							
【授業を通しての到達目標】							
基本的なジェルアートから流行りのアートまでを習得して、ネイルチップを作成できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
持参 アルミホイル コットン ハサミ キッチンペーパー 両面テープ 消毒用エタノール 水入れ トレイ アイシャドウ※8回目							
回	授業概要					テスト配点	
1	シラバス読み合わせ ファイルの下ろし方 チップの合わせ方 ブラシのおろし方 チップの装着方法(グルー 両面テープ ジェル) オフの方法					小テスト3点	
2	ワンカラー ストーンの装着方法 ラメグラデーション(ラメ) ラメ全面 グミネイル※シュガーネイル(ラメ)					小テスト3点	
3	ドットネイル(ホロ) ミラーボール(ラメ)					小テスト3点	
4	5本セット					中間テスト20点	
5	タイダイ ベッコ甲					小テスト4点	
6	大理石(オフホワイト ブラック ライナーホワイト) 天然石					小テスト4点	
7	ジュエリー作成(パール ダイアカット) 天然石パーツ					小テスト3点	
8	10本セット作成					定期試験 60点	
				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	選択必修Ⅱ (メイク)	必修選 択	必修	年次	1	担当教員	久保・秋本・笠原・清水
学科・コ ー ス	トータルビューティ科	授業形 態	実技	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>〈久保〉外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告、バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動。(12年)</p> <p>〈秋本〉外資系化粧品ブランドで4年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、CM、バックステージ(国内・外)、パーソナルメイクサロンとして活動中</p> <p>〈笠原〉外資系化粧品ブランド約9年、ブライダルヘアメイクやメイク講師として2年程現在活動中</p> <p>〈清水〉外資系化粧品ブランドで勤務後、フリーランスヘアメイクとしてファッションショー、スチール撮影を携わって来た。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
骨格、色彩を学び、デザイン力を身に付けてメイクの完成度を高める。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ファンデーションの種類を学び、仕上がりに合った選び方を身につける						
2	アイブロウの整え方、形の種類、描き方を身につける					5点	
3	質感別メイク					5点	
4	中間テスト 質感別メイク					20点	
5	質感別メイク						
6	骨格補正(黄金比)					5点	
7	テスト練習					5点	
8	定期テスト					60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 			

科目名 (英)	選択必修Ⅱ (ファッション)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	前嶋 直哉
		授業形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期
学科・コース	TB科ファッションコース						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション業界の基本的な知識の習得と、ファッション業界とそれを取り巻く業界の職務理解を行う ※講師:エストネーションカンパニーにて管理職として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネージメントを行う							
【授業を通じての到達目標】							
基本的なファッションの知識を習得しプレゼンテーション能力向上や、職種知識を習得して業界への知見を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業毎にプリントを配布				店舗見学			
回	授業概要					テスト配点	
1	ファッションとは？流行とは？情報とはどのように入ってくるのか？ 自分たちを取り巻くファッションについて考察する。(SNS、雑誌、広告などを調べ考察する)						
2	ファッションの基本的な知識(スタイリング、ディテール名称、素材知識、カラーなど)を知る。						
3	ファッションのバックボーン(歴史やカテゴリー、コレクションなど)を知ることによって、ファッション、小売店舗の種類を理解してファッション業界の幅を知る。						
4	中間テスト					20点	
5	アパレル以外のファッションについての理解。 (服飾雑貨、コスメ、ヘアメイクなどアパレルを取り巻くファッションについての理解)						
6	ファッション業界についての業務理解① (リテール・小売業についての理解を深める)						
7	ファッション業界についての業務理解② (MD、VMD、バイヤー商品企画などの商品部署、PRやマーケティングの広報部署についての理解を深める)						
8	期末テスト					60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15						60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E 評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	選択必修Ⅱ(エステ)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小池 千絵
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜日3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
大手エステサロンでエステティシャンとして2年勤務・美容室にてエステ部門を8年担当し認定講師の資格を有し、複数の専門学校でエステティックの授業を受け持つ教員がボディマッサージの基本や接客の基本を身につけてるための授業を実施する							
【授業を通じての到達目標】							
身体の各部位の特性を理解し効果を実感してもらえるマッサージを行う							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント(補助教材)				身近な方へ授業で習得したマッサージを行う			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	【施術前の準備】エステティシャンの振る舞い方を知りお客様への接客を学ぶ						
2	【背中のマッサージ】マニュアルを見ながら背中のマッサージができるようになる					5点	
3	【背中のマッサージ】背中のマッサージを正確にできるようになる					5点	
4	【腹部のマッサージ】腹部のマッサージを正確にできるようになる					20点	
5	【背中・腹部のマッサージ】 背中、腹部のマッサージを連続してできるようになる						
6	【背中・腹部のマッサージ】ご案内からアフターカウンセリングまでをスムーズに行う					5点	
7	【中間試験】 ご案内～背中～腹部～アフターカウンセリングの流れをスムーズ行う					5点	
8	【背中・腹部のマッサージ・パック】背中のパック技術を習得する					60点	
【特記事項】相モデルで毎回授業を実施します				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	選択必修Ⅱ(ネイル)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	小峰奈々 戸川智尋
学科・コース	トータルビューティ科 ネイルコース	授業 形態	実技	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
この科目では サロンワークに必要な基本的なアートから流行りのアートまで様々なジェルアート技術を修得する							
小峰奈々: ネイリストとして20年以上ネイル業界に携わってきました。 ジェルネイルが流行る前からネイルサロンでジェルネイルを導入していたためスタッフへの教育はもろろん、 講師業で培ったジェルネイルの技法、ジェルメーカーのエデュケーター活動(セミナー開催など)の経験を活かし皆さんにジェルネイルの知識と技術をお伝えします。							
戸川智尋: サロン業務、サロン研修所講師を経て、スクールでのネイルの教育に20年以上携わってきました。 各種ジェルメーカーのエデュケーターを務め、現場ではネイルサロン、ネイル雑誌撮影、スタジオスチール撮影などの仕事に携わってきました。 様々な経験を活かし、サロンワークで実践できる最新技術をお伝えします。							
※コロナウイルス感染症発生予防対策として、担任と副担任が担当							
【授業を通しての到達目標】							
基本的なジェルアートから流行りのアートまでを習得して、ネイルチップを作成できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
持参 アルミホイル コットン ハサミ キッチンペーパー 両面テープ 消毒用エタノール 水入れ トレイ アイシャドウ※8回目							
回	授業概要					テスト配点	
1	シラバス読み合わせ ファイルの下ろし方 チップの合わせ方 ブラシのおろし方 チップの装着方法(グルー 両面テープ ジェル) オフの方法					小テスト3点	
2	ワンカラー ストーンの装着方法 ラメグラデーション(ラメ) ラメ全面 グミネイル※シュガーネイル(ラメ)					小テスト3点	
3	ドットネイル(ホロ) ミラーボール(ラメ)					小テスト3点	
4	5本セット					中間テスト20点	
5	タイダイ ベッコ甲					小テスト4点	
6	大理石(オフホワイト ブラック ライナーホワイト) 天然石					小テスト4点	
7	ジュエリー作成(パール ダイアカット) 天然石パーツ					小テスト3点	
8	10本セット作成					定期試験 60点	
				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	パーソナルカラー	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	さやまあやこ
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 2単位	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
パーソナルカラーの講師経験が10年以上ある講師が、パーソナルカラー検定の合格を目標に内容を授業する。							
【授業を通じての到達目標】							
パーソナルカラー色彩検定モジュール1の検定合格							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
公式テキスト・ワークブック・配色カード							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	パーソナルカラーについての基本を理解する					5点	
2	属性と顔色の変化について						
3	属性による色に見分け					5点	
4	色彩の心理効果					実技20点	
5	色を見分ける練習						
6	分析実習					5点	
7	配色法					5点	
8	検定総合対策					実技60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	トレンドメイク実践	年次	1	実務経験	担当	高岸・清水
		授業形態	実習			
		時間数	30			
学科・専攻	トータルビューティ科	単位	2	有り	開講区分	前期 2Q
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	色彩学やトレンドカラー・トレンドメイクを学び習得する。最新のトレンドを学ぶ。					
到達目標	スプリング・サマー・オータム・ウインターの特徴を理解・メイクアップに反映できる。ヒューマンカラーとパーソナルカラーを理解する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input type="checkbox"/> 提出課題					
教科書	CAAメイクアップカラーアドバイザー公式テキスト	事前事後学習とその内容	実技授業の場合、授業前にメイクセッティングをして下さい。授業後は全員で消毒と清掃を行います。ブラシ・パフは毎回洗浄して下さい。			
教材						
特記事項	課題にてテーマ別のメイクアップ画像提出					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ				授業内容	
1	4シーズンカラー スプリング				①色彩学 4シーズンカラー スプリングの特徴を理解しメイクで習得する。	
2	4シーズンカラー サマー				②色彩学 4シーズンカラー サマーの特徴を理解しメイクで習得する。	
3	4シーズンカラー オータム				③色彩学 4シーズンカラー オータムの特徴を理解しメイクで習得する。	
4	4シーズンカラー ウィンター				④色彩学 4シーズンカラー ウィンターの特徴を理解しメイクで習得する。	
5	ヒューマンカラーチェック				色相:ベースカラー・明度:ライト・ディープ・彩度:ピピット・ソフト を理解し診断する。	
6	パーソナルカラーチェック				カウンセリングでベストカラーを導き出し、パーソナルカラーでフルメイクをする。	
7	期末試験対策:4シーズンカラー				実技試験:パーソナルカラーで40分フルメイクの理解と対策	
8	期末試験:4シーズンカラー				実技試験:パーソナルカラーで40分フルメイク	
【特記事項】			【評価について】			
			<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			